

# 安城東高校では、今の中学3年生からはじまる 新テストに向けて着々と準備が進んでいます。

今の中学3年生が大学受験を迎える3年後から、大学入試の枠組みが大きく変わります。大学入試センター試験が廃止され、新テスト「大学入学共通テスト」が導入されるなど、大規模な入試改革となる見込みです。

「3年後にあわてて対策をしても手遅れになる、現中3生が入学する前からできることはやっておこう。」という思いから、かなり早い段階から情報収集・分析を行い、着々と準備を進めています。

## その1 専門家を招いての研究会

(平成29年9月)

講師 河合塾 中部統括チーフ 西山直志氏

対象 安城東高校の全教職員

新テスト導入スケジュール	
高校生のための学びの基礎診断	大学入学共通テスト
2016年度 (平成28)	「実施方針」策定に向けた検討 ※出題内容・範囲、プレテスト内容など
2017年度 (平成29)	「実施方針」策定・公表 プレテスト実施
2018年度 (平成30)	「実施大綱」検討 ※テストの具体的な内容 「実施大綱」策定・公表
2019年度 (平成31)	「実施大綱」策定・公表 事前プレテスト実施(11月)
2020年度 (平成32)	プレテスト実施(12月)
2021年度 (平成33)	確認プレテスト実施
2022年度 (平成34)	現行学習指導要領下での試行実施
2023年度 (平成35)	現行学習指導要領での実施 2017年度(中3生～)
2024年度 (平成36)	次期学習指導要領下での実施 次期学習指導要領に 対応した「実施大綱」 策定・公表 次期学習指導要領での実施 (2017年度小5生～)

河合塾

### 大学入試がどう変わるのか？

#### 大学入学者選抜改革の概要

画一的な一斉試験で  
知識の再生を問う評価

➔

多面的・総合的な評価

「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するものへ変換

5つのポイント

- ① 大学入試センター試験の廃止 (2021年1月～ 現中3生)  
? 「大学入学共通テスト(仮称)」の導入
- ② 英語はスピーキングを含む4技能を重視
- ③ AO入試・推薦入試・一般入試の区分見直し  
? 新たなルールの構築
- ④ 「調査書」「活動報告書」をはじめとした提出書類の見直し
- ⑤ 各大学のアドミッション・ポリシーの明確化  
? 大学が求める学生像、選抜基準・評価方法を明確化

9

### 〈主な内容〉

- ・ 入試改革の背景
- ・ 今の社会で求められる能力とは？
- ・ 新しい入試で問われる学力の3要素
- ・ 大学入学共通テストの概要
- ・ 英数国がどう変わる？
- ・ 記述式問題を導入する理由
- ・ 英語民間試験の活用について

河合塾

### 大学入学者選抜改革の状況

※2017年5月16日 文科省公表

#### 英語 大学入学共通テスト 英数国がどう変わる？

現行：マークシート式「読む&聞く」

新規：大学入試センターが認定した民間試験で4技能受験

→高3の4～12月の間に2回まで受験可能

→成績評価は、各試験のスコアのほか、  
段階別評価結果(6段階を検討)の良い方を採用

→2次試験の出願資格、試験免除、得点加算に利用想定

〈検討事項〉 民間試験の活用について

A案→2021年1月入試から廃止→民間試験に全面移行

B案で決定：2024年1月入試まで残す→2025年1月全面移行

→「共通テスト」「民間試験」のいずれかor組み合わせ活用

11

## その2 大学入学共通テストに向けたプレテストに参加

(平成29年11月)

大学入試センター試験から最も大きく出題が変わる、国語と数学のプレテストに参加。新しく追加される記述式の問題だけでなく、従来型のマークシート式問題の新傾向も分析することができました。もちろん、これは早期段階でのプレテストですから、今後さらにどう変わっていくか、最新情報にも注目していきます。

### 大学入学共通テスト「国語」に関するコメント

複数の資料・グラフから読み取った内容に基づいて、思考力・判断力・表現力(要約力)を問う出題方針が窺えた。その方針に沿った教材の導入を来年度から検討している。短い時間で情報を読み取り、客観式答案と記述答案を完成させる練習も必要である。特に記述式問題への対応は、1年次から文系理系の別なく入試直前まで継続する。

### 大学入学共通テスト「数学」に関するコメント

大学入学共通テストの数学に記述問題が導入されることになった。これまでも答案をしっかりと記述させる指導をしてきたので、大きく指導計画を変えなくても本校の指導で十分対応できる。今回のプレテストで見えてきた出題傾向に対応するためには、早期段階からの問題演習を多めに行う必要があるが、本校は各学年34単位時間と授業時間が多いため、その時間を確保できる。

## その3 英語民間試験への対応・指導計画も検討中

3年後の入試改革では、英語も大きく変わります。4技能「読む・聞く・書く・話す」が重視されるようになりますが、現行のマークシート式試験では「読む・聞く」の2技能のみが評価されます。そこで、4技能がバランス良く評価される、英検などの民間試験の結果を大学入試で利用できることになりました。

現時点で文部科学省から示されている英語民間試験（主なもの）平成29年7月時点

英検・ケンブリッジ英検・GTEC・TEAP・TOEFL・TOEIC など

### 英語民間試験に関するコメント

本校の英語指導に最もよく合っている民間試験を検討・選定している。実際に大学入試で利用できるのは3年次に受験した民間試験の結果であるが、1年次から生徒全員にチャレンジさせる指導計画を立てている。3年間を通して英語の4技能を意識した学習をしてもらうためである。

また、新設される国際理解コースの生徒には、卒業時まで英検2級以上の英語力をつけさせることを目標に、カリキュラムを準備している。

**安城東高校**では、3年後の大学入試改革に向けて、常に最新の情報をもとにしながら着々と準備をすすめていきます。